

## ご報告とお礼

2022年度、2023年度と、マツダ財団様の市民活動支援を受けて活動してまいりました「子どもが科学に親しむ場を創る会」の三谷干城です。

本日(5月19日)の午後、昨年度の光小学校6年生が「福山のばらでお香開発」で作成したお香セットを、外国からのお客様へプレゼントしました。

子どもたちが作ったお香セットの内容は以下の通りです。

1. 新聞紙で織ったバッグ
2. 水蒸気蒸留法でバラの香りを取り入れた、バラの形をしたお香
3. お香を収納する桐箱(業者からの寄付)
4. 児童が書いた習字「薔薇」
5. 桐箱を入れる折り紙の箱
6. バラの形をした折り紙
7. 歓迎カード

当初、世界バラ会議の開会式にて、児童が外国の来賓へ直接手渡す予定でした。しかし、28か国から約600人の外国人来賓が出席し、さらに寛仁親王妃信子さまも会場を訪問されることとなったため、開会式の時間内で贈呈を行うのは難しいと判断しました。

そこで、開会式の会場から昼食会場へ移動する際、児童たちが持参した100個を超える福山のばらのお香セットを来賓に直接手渡しました。3年間にわたって進めてきた子どもたちの活動は、成功裏に幕を閉じました。

ここに、皆様への感謝を込めてご報告申し上げます。今後、光小学校では、毎年6年生が約30本のバラの手入れをしながら、大切に育ててくれることと思います。

「子どもが科学に親しむ場を創る会」は、2029年完成予定の「(仮)こども未来館」の充実を目指し、市民の皆様と協力しながら福山市の支援を続けてまいります。



バラのお香セット



桐箱に入った福山のばらのお香



外国の来賓と光小の6年生児童